

高等学校 令和 7 年度 （ 1 学年用）

教 科 ： 英語

科 目 ： 英語コミュニケーション

単 位 数 ： 3 単位

対 象 学 年 組 ： 第 1 学年

教 科 担 当 者 ： 1 組～6 組 神内、後藤、武居

使用教科書： All Aboard!（東京書籍）

教科の目標： 英語による情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力の育成を目指して「聞く・読む・話す・書く」の 4 技能及びそれらを統合した言語活動を展開していく。

【知識及び技能】

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きをよく理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な場面や社会的な話題について、聞く・読む・話す（やりとり・発表）・書くの 5 領域において、情報や考えなどの概要や要点を理解したり自ら気持ちや考えを伝え合ったりする為に必要な言語材料を理解させ、実際のコミュニケーションに活用できるように習得させる。	日常の場面や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話して書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたり出来るようにする。また、いくつかの支援を活用しながら、それらの情報や考えについて伝え合ったり発表出来るようにする。	英語を学ぶことへの意義を理解し、情報や考えなどの概要や要点、話して、書き手の意図などを主体的、自律的につかみ取ろうとする態度、また学んだ英語を用いて他者の状況焼き餅を配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 Lesson 1						
	【知識及び技能】 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の好みやその理由を話して伝えることができる。また、動詞の過去形を使って過去のことについて伝え合うことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の好みやその理由を話して伝えようとしている。また、動詞の過去形を使って過去のことについて伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな食べ物について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 世界の朝食を紹介するスピーチ通して、その特徴や相違を学習する。	【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな食べ物について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 世界の朝食について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな食べ物について相手の意見に積極的に耳を傾け、自分の考えや好みその理由をまとめながら、話したり書いたりして伝え合う態度を身に付けている。	【言語材料】 過去形	【学びに向かう力、人間性等】 世界の朝食について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな食べ物についての相手の意見に積極的に耳を傾け、自分の考えや好みその理由をまとめながら話したり書いたりして伝え合おうとしている。				
1 学 期	2 単元名 Lesson 2						
	【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアの珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解し、それを話して伝え合うことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、オーストラリアの珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解し、それを話して伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアの野生動物について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな動物について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 オーストラリアの珍しい野生動物クオッカの生態と、観光のルールのについて学習する	【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアの野生動物について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな動物について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、自分の考えや好みその理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 オーストラリアの野生動物について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな動物についての相手の意見に積極的に耳を傾け、自分の考えや好みその理由をまとめながら話したり書いたりして伝え合う態度を身に付けている。	【言語材料】 進行形（be動詞＋動詞のing形）	【学びに向かう力、人間性等】 オーストラリアの野生動物について書かれた文章の概要をとらえ、学んだ事柄を活用しながら、好きな動物についての相手の意見に積極的に耳を傾け、自分の考えや好みその理由をまとめながら話したり書いたりして伝え合おうとしている。				
1 学 期	3 単元名 Lesson 3						
	【知識及び技能】 助動詞can,willを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ある場所への行き方やそこでできること、自分ができること・できないことについて助動詞を使って情報や考えを伝え合うことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 助動詞can,willを用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、ある場所への行き方やそこでできること、自分ができること・できないことについて助動詞を使って情報や考えを伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士について書かれた文章の概要を理解し、それを活用しながら、ある場所への行き方やそこでできること、自分ができること・できないことについて、他人の話を聞いたり自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士について書かれた文章の概要を理解し、学んだことを活用しながら、ある場所への行き方やそこでできること、自分ができること・できないことについて、他人の話を聞いたり自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士について書かれた文章の概要を理解し、学んだことを活用しながら、ある特定の場所や場面できるところ・できないことについて、他人の意見を積極的に聞いたり自分の考えをまとめながら、情報や考えを話したり書いたりして伝え合う態度を身に付けている。	【言語材料】 助動詞：can, will	【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士について書かれた文章の概要を理解し、学んだことを活用しながら、ある特定の場所や場面できるところ・できないことについて、他人の意見を積極的に聞いたり自分の考えをまとめながら、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。				

高等学校 令和 7 年度 （ 1 学年用）

教科：英語 科目：英語コミュニケーション

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：1 組～6 組 神内、後藤、武居

使用教科書：All Aboard!（東京書籍）

教科の目標：英語による情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力の育成を目指して「聞く・読む・話す・書く」の 4 技能及びそれらを統合した言語活動を展開していく。

【知識及び技能】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きをよく理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な場面や社会的な話題について、聞く・読む・話す（やりとり・発表）・書くの 5 領域において、情報や考えなどの概要や要点を理解したり自ら気持ちや考えを伝え合ったりする為に必要な言語材料を理解させ、実際のコミュニケーションに活用できるように習得させる。	日常の場面や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話して書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたり出来るようにする。また、いくつかの支援を活用しながら、それらの情報や考えについて伝え合ったり発表出来るようにする。	英語を学ぶことへの意義を理解し、情報や考えなどの概要や要点、話して、書き手の意図などを主体的、自律的につかみ取ろうとする態度、また学んだ英語を用いて他者の状況焼き餅を配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
2 学期	1 単元名 Lesson 4						
	【知識及び技能】 to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞を用いて情報や考え、気持ちを話して伝え合おうことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞を用いて情報や考え、気持ちを話して伝え合おうとしている。				
	2 【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうことができる。	【指導項目・内容】 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。	【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見をよく聞き、自分の考えをまとめながら、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合おうことができる。	【言語材料】 to不定詞：〈to＋動詞の原形〉	【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見をよく聞き自分の考えをまとめながら、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合おうとしている。				
2 学期	2 単元名 Lesson 5						
	【知識及び技能】 動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞を用いて考えや気持ち、情報などを話して伝え合おうことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞を用いて考えや気持ち、情報などを話して伝え合おうとしている。				
	2 【思考力、判断力、表現力等】 高校のユニークな部活動について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうことができる。	【指導項目・内容】 高校のユニークな部活動の紹介文を通して、今好きなことと将来の夢について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 高校のユニークな部活動について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 高校のユニークな部活動について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、積極的に考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合う態度を有している。	【言語材料】 動名詞：〈動詞のing形〉	【学びに向かう力、人間性等】 高校のユニークな部活動について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、積極的に考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。				
2 学期	3 単元名 Lesson 6						
	【知識及び技能】 受け身形を用いた文の形・意味・用法を理解している。好きな絵の紹介とその理由について、受け身形を用いて情報や考え、気持ちを話して伝え合おうことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 受け身形を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。好きな絵の紹介とその理由について、受け身形を用いて情報や考え、気持ちを話して伝え合おうとしている。				
	2 【思考力、判断力、表現力等】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうことができる。	【指導項目・内容】 江戸時代の浮世絵、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見をよく聞き自分の考えをまとめながら、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合おうことができる。	【言語材料】 受け身：〈be動詞＋過去分詞〉	【学びに向かう力、人間性等】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見をよく聞き自分の考えをまとめながら、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合おうとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 （ 1 学年用）

教科 科 目：英語 科目：英語コミュニケーション
単位数 数：3 単位
対象学年組：第 1 学年
教科担当者：1組～6組 神内、後藤、武居
使用教科書：All Aboard!（東京書籍）
教科の目標：英語による情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力の育成を目指して「聞く・読む・話す・書く」の4技能及びそれらを統合した言語活動を展開していく。

【知識及び技能】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きをよく理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な場面や社会的な話題について、聞く・読む・話す（やりとり・発表）・書くの5領域において、情報や考えなどの概要や要点を理解したり自ら気持ちや考えを伝え合ったりする為に必要な言語材料を理解させ、実際のコミュニケーションに活用できるように習得させる。	日常の場面や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話して書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたり出来るようにする。また、いくつかの支援を活用しながら、それらの情報や考えについて伝え合ったり発表出来るようにする。	英語を学ぶことへの意義を理解し、情報や考えなどの概要や要点、話して、書き手の意図などを主体的、自律的につかみ取ろうとする態度、また学んだ英語を用いて他者の状況焼き餅を配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配 当 時 間
2 学 期	4 単元名 Lesson 7						
	【知識及び技能】 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 アンネ・フランクについて学び、関心のある人物について調べた事柄を整理・理解するとともに、比較表現を用いて考えや気持ちを伝え合することができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。アンネ・フランクについて学び、関心のある人物について調べた事柄を整理・理解するとともに、比較表現を用いて考えや気持ちを伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 アンネ・フランクの生活と日記について紹介する文章を通して、生きることの意味について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について、相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、学んだことを活用しながら、お互いが関心のある人物について、調べたことや自分の考え・気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合うことができる。	【言語材料】 比較表現：〈-er〉 〈the -est〉 〈as+原級+as〉	【学びに向かう力、人間性等】 アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、学んだことを活用しながら、お互いが関心のある人物について、調べたことや自分の考え・気持ちを話したり書いたりして積極的に伝え合おうとしている。				
3 学 期	1 単元名 Lesson 8						
	【知識及び技能】 現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を理解・整理し、それについて考えなどを伝えることができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を理解・整理し、それについて考えなどを伝えようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 ロボットカフェについて書かれた文章を聞いたり読んだりして学んだことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄について考えをまとめて伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 ロボットカフェについて書かれた文章を聞いたり読んだりして学んだことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄について考えをまとめて伝え合おうとしている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性等】 ロボットカフェについて書かれた文章を聞いたり読んだりして学んだことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄について、さらに人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考え、提案し合うことができる。	【言語材料】 現在完了形：〈have(has)+過去分詞〉	【学びに向かう力、人間性等】 ロボットカフェについて書かれた文章を聞いたり読んだりして学んだことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄について話したり、さらに人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考え、提案し合おうとしている。				

高等学校 令和 7 年度 （ 1 学年用）

教 科 ： 英語 科 目 ： 英語コミュニケーション

単 位 数 ： 3 単位

対 象 学 年 組 ： 第 1 学年

教 科 担 当 者 ： 1 組～6 組 神内、後藤、武居

使用教科書：All Aboard!（東京書籍）

教科の目標：英語による情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力の育成を目指して「聞く・読む・話す・書く」の4技能及びそれらを統合した言語活動を展開していく。

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きをよく理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な場面や社会的な話題について、聞く・読む・話す（やりとり・発表）・書くの5領域において、情報や考えなどの概要や要点を理解したり自ら気持ちや考えを伝え合ったりする為に必要な言語材料を理解させ、実際のコミュニケーションに活用できるように習得させる。	日常の場面や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話して書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたり出来るようにする。また、いくつかの支援を活用しながら、それらの情報や考えについて伝え合ったり発表出来るようにする。	英語を学ぶことへの意義を理解し、情報や考えなどの概要や要点、話して、書き手の意図などを主体的、自律的につかみ取ろうとする態度、また学んだ英語を用いて他者の状況焼き餅を配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
3 学 期	2 単元名 Lesson 9						
	【知識及び技能】 名詞の後置修飾をする分詞が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学び、考えたことを伝え合うことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 名詞の後置修飾をする分詞が用いられた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学び、考えたことを伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、この問題について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 プラスチックゴミによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動から学ぶ。	【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、この問題について相手の意見を知り自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、この問題について相手の意見をよく聞き、自分の考えをまとめながら、自分たちができることについて、考えを話したり書いたりして伝え合うことができる。	【言語材料】 名詞を後ろから修飾する分詞	【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、この問題についての相手の意見をよく聞き、自分の考えをまとめながら、自分たちができることについて、考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。				
3 学 期	3 単元名 Lesson 10						
	【知識及び技能】 関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦で傷ついた沖縄へのハワイからの援助や、両者の現在の交流について学び、考えたり感じたりしたことを伝え合うことができる。	【使用教材】 教科書、ワークブック、個人端末、プリント	【知識及び技能】 関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解しようとしている。また、第二次世界大戦で傷ついた沖縄へのハワイからの援助や、両者の現在の交流について学び、考えたり感じたりしたことを伝え合おうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦後の沖縄とハワイの交流について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることを考え伝え合うことができる。	【指導項目・内容】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄への、ハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両者の現在の交流について学習する。	【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦後の沖縄とハワイの交流について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることを考え伝え合うことができる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の沖縄とハワイの交流について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、お互いの考えを積極的に伝え合おうとしている。	【言語材料】 関係代名詞：who, which	【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の沖縄とハワイの交流について書かれた文章を読んだり聞いたりして学んだことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、お互いの考えを積極的に伝え合おうとしている。				